

第15回 多文化共生のための  
**国際理解教育  
 開発教育  
 セミナー**

主体的・対話的で深い学び  
 アクティブ・ラーニングで学ぼう！

**参加費  
 無料**

2018年  
**8月6日(月) 13:00~16:30**  
**8月7日(火) 13:00~17:00**

会場：JICA関西

定員 100人[先着順]

対象 国際理解教育・開発教育に興味  
 のある教職員・学校関係者  
 または学生

●申込締切

**8月1日(水)17時必着**

●申込方法

裏面の申込書をFAX送付するか、メールで  
 必要事項をお知らせください。

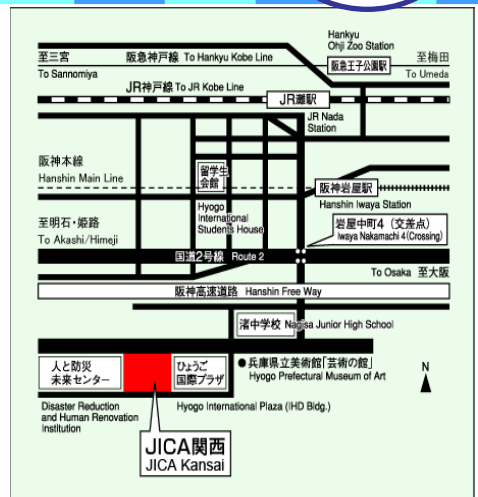
●お申込先

JICA関西 市民参加協力課 多文化共生セミナー担当:近江 竜也

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 E-mail: [jicaksic-renkei@jica.go.jp](mailto:jicaksic-renkei@jica.go.jp)

FAX 078-261-0357

★メールでお申し込みの場合、件名を「多文化共生セミナー参加希望」と記載してください。



駐車場はありませんので、公共交通機関、または近隣の有料  
 駐車場をご利用ください。

●お問い合わせ

TEL 078-261-0384

主催：兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・公益財団法人神戸YMCA・公益財団法人PHD協会  
 ・公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部・独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西）

8月6日(月)

13:05-14:35 >> 基調講演

「イノベーションを哲学にした、新しい時代の学校経営とは？」

武蔵野女子学院中高(前大阪府立箕面高校)校長

日野田 直彦

大阪府の公募制校長として、4年間学校の経営改革に携わって来ました。現在、高大接続改革のもと、英語の四技能化や新しい学力観など、現在教育に大きな注目が集まっております。前職の箕面高校においては、先んじて4年前より改革を進め、海外進学については日本一となる実績を出すことができました。「普通の地方の公立高校」がいかんにして実現したのか、そして「未来の学校」とはどこが大事なのか？をお伝えします。

14:35-15:00 >> 主催団体紹介&休憩

※各団体が発行する教材を販売します。

15:00-16:30 >> 分科会①

A. 「英語でやってみよう! 『世界がもし100人の村だったら』

(英語, 国際理解, 異文化理解)

72億以上の人々が住むこの世界の多様性や富の偏在を感じる「100人村」のワークショップのアクティビティのいくつかを簡単な英語(中学、高校生レベルの英語)で体験してみましょう。そして英語によるテーマ学習について考えてみよう。

【木川 梢】関西インターナショナルハイスクール 非常勤講師、ポレポレクラブ主催

B. 「やさしい日本語」～あなたも外国人と「やさしい日本語」で話せます～

(多文化共生, コミュニケーション)

日本語が不十分な児童・生徒が増えています。私たちが普段話している日本語を少し変えるだけでコミュニケーションが取りやすくなります。このワークでは「やさしい日本語」の考え方を学び、実践します。

【福井 武司】神戸YWCA学院日本語コース・日本語教師養成コース 主任講師

C. 「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」

(平和)

「友情って何色?」「平和って何色?」平和そのものやそれを妨げるものについて問いかけるバイリンガルなねこ、ポーポキ。

ポーポキの絵本を用いて子どもも大人も五感や全身を使って平和の意味を確認し、一人ひとりの積極的な平和づくりを目的とする参加型ワークショップです。平和の多面性と豊かさ、大切さを実感しましょう。

【ロニー・アレキサンダー】神戸大学大学院国際協力研究科 教授

★ 各講師名は、敬称略

ご案内

- ・受付は先着順です。決定した分科会は、調整後にお知らせします。
・定員の関係で分科会の希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

8月7日(火)

13:00-14:30 >> 分科会②

D. 「やってみよう! We Can!で国際理解教育」 (外国語, 国際理解教育)

小学校外国語教材We Can!を使い、テーマ別英語学習にトライしてみませんか? 前半は国際理解教育ベースのテーマ別学習の説明とその具体的なアクティビティの紹介。後半はワークショップ形式で、国際理解の要素を取り入れた英語授業についてアイデア交換を行います。

【阿部 志乃】横須賀学院小学校 教諭

【安田 万里】神戸市公立小学校イングリッシュサポーター(ES)サポーターリーダー

E. 「『豊かに共生する心』を育む」

(多文化共生)

県内の子ども多文化共生教育にかかる現状と課題を理解するとともに、どうすればすべての児童生徒に『豊かに共生する心』を育むことができるのか、ワークショップを通して考えます。

【中村 雅洋】兵庫県教育委員会事務局人権教育課 子ども多文化共生センター

F. 「教師海外研修(ネパール)報告会」

(SDGs, 豊かさ)

2015年のネパール大震災からの復興とSDGs(持続可能な開発目標)に向けて何ができるかをテーマとしたJICA教師海外研修に参加した教員が、その経験を教材化した授業の実践報告。ご自身の海外での経験を教材化するヒントが得られます。

【宮本 啓】小野市立小野南中学校 教諭

【上内 伸一郎】兵庫県立赤穂高等学校 教諭

14:30-15:00 >> ブース展示&休憩

※各団体が発行する教材を販売します。

15:00-16:30 >> 分科会③

G. 「ICTを活用した英語教育と海外との交流実践」(ICT教育, 英語教育)

いつでもどこでもインターネットにアクセスでき、生徒たちの多くがスマートフォンを所持している昨今。インターネットを活用した海外との生中継授業をはじめ、「どこでもできる」グローバルな取り組みの在り方を追求した実践を紹介いたします。

【堀尾 美央】滋賀県立米原高等学校 教諭

H. 「難民になるということ」

(難民)

兵庫県は、全国で2番目に多くの難民が暮らす県です。

難民とはどんな人なのか。なぜ難民になってしまうのか、やっとなど着いた難民キャンプではどんな暮らしになるのか、3つのワークショップから考えます。

【中尾 秀一】難民事業本部関西支部

I. 「ボルネオ島熱帯林破壊と私たちの消費生活とのつながり」

(環境・人権)

私たちの日々の買い物、遠い国の環境破壊や人権侵害につながっている可能性があります。グループ参加型の「バーム油クイズ」やステークホルダーで問題解決を図る「ロールプレイ」等のワークショップを通して、熱帯林と消費の関わりを学びます。

【石崎 雄一郎】ウータン・森と生活を考える会 事務局長

16:40-17:00 >> クロージング・セッション

2日間のセミナーを振り返り、明日からの実践にどう活かすのかを考えます。

※申込書にご記入いただく個人情報は、セミナーに関連する事前・事後の諸手続きのみに使用いたします。

第15回 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー申込書

JICA関西 市民参加協力課 多文化共生セミナー担当 近江宛 FAX 078-261-0357 E-mail: jicaksic-renkei@jica.go.jp

※ メールでお申し込みの場合、件名を「多文化共生セミナー参加希望」としてください。

Table with columns for Name, Telephone, E-mail, and a grid for subject preferences (分科会①-③) with options A-I.

※必ず連絡のつくメールアドレス、電話番号をご記入ください。事前に確認のため、ご連絡することがございます。